

滋賀県立高島高等学校校創立百周年記念事業
募金趣意書

謹 啓

皆様方には、ますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は高島高等学校の教育に深いご理解を賜るとともに、格段のご協力、ご支援をいただき誠に有り難く心より御礼申し上げます。

さて、本校は、大正9年（1920年）に滋賀県立今津中学校として創設され歴史を刻み始めました。昭和23年の学制改革により滋賀県立藤樹高等女学校（昭和2年大溝町立大溝実科高等女学校として創立）と統合し、滋賀県立高島高等学校として再出発いたしました。その後、安曇川分校の設置、さらに安曇川高等学校としての独立など幾度かの変遷を遂げ、2020年には、創立百周年という慶事を迎えることになりました。今日までに2万6千余名の優秀な人材を世に送り出し、藤陰会（本校同窓会）会員の皆様は、現在も各方面で活躍されておられます。

滋賀県立今津中学校は、近江聖人「中江藤樹」先生を範として、藤樹先生の人的誠実さを建学の精神とし、今も、校訓「敦厚剛毅」として変わることなく受け継がれております。また、当時の「全員運動主義」の精神も現在「文武両道」の校風として受け継がれております。「敦厚剛毅」・「文武両道」の精神を校訓・校是として本校は歴史を連綿と紡いでまいりました。

草創の苦難、戦時体制、学制改革、学科改編など様々な紆余曲折を乗り越え、ここに集い学ぶ者は、この校訓・校是を胸に、人的誠実さと困難に立ち向かう厳しい気概とを併せ持つ大切さを教えられ、気づき、そして育みました。その優れた資質、能力を開花させ各界各層で広く活躍しておられる藤陰会会員の皆様は、我々の誇りとする処であります。この成果は、ひとえに藤陰会、PTA、後援会、藤友会（本校歴代役員会）、学校が一つとなりしっかりと本校の歴史を支える高島高等学校の伝統の賜物です。この力強いすばらしい伝統があるからこそ、これからの高島高等学校もますます発展、成長していくことが大いに期待されます。

ここに本校が創立百周年を迎え、記念事業を実施するにあたり、皆様方への感謝と次世代へのメッセージを伝えるべく藤陰会、PTA、後援会、藤友会、学校の5団体で協議の上「創立百周年記念事業実行委員会」を設立し、高島高等学校の教育環境の整備を重点とする記念事業を実施することとし準備を進めております。

つきましては、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同賜り、その資金といたしまして皆様からのご寄附を仰ぎたく謹んでお願いいたします。本記念事業が成功裡に行われ、母校の更なる発展に繋がる力強い礎となりますよう皆様方の格別のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

謹白

平成30年11月吉日

滋賀県立高島高等学校創立百周年記念事業実行委員会

実行委員長	（藤陰会会長）	橋本 源之助
副実行委員長	（藤陰会副会長）	川那邊 睦美
副実行委員長	（藤陰会副会長）	拝藤 助裕
副実行委員長	（PTA・後援会会長）	澤井 明彦
副実行委員長	（藤友会会長）	永易 晃
副実行委員長	（校 長）	梅村 妙子